

令和 7 年度第 1 回浜松市博物館協議会 会 議 録

第1 開催日時

令和 7 年 7 月 31 日（木）午後 1 時から午後 2 時 40 分まで

第2 開催場所

浜松市博物館 2 階会議室

第3 出席状況

（出席委員）

現地参加：笹原恵、西田かほる、廣瀬憲雄、村松健史、渡部いつみ

Web 参加：田中裕二

（欠席委員）二本松康宏、山本久美子

（事務局）

鈴木一有博物館長、中村和隆博物館長補佐、鈴木京太郎学芸 G 長、
村松輝和運営 G 長、橋本充悠、鳥居恒平、井口美奈、中村浩章

第4 傍聴者

なし

第5 議題、内容及び結果

- (1) 令和 6 年度事業報告等について
- (2) 令和 7 年度事業計画等について
- (3) 博物館事業評価について
- (4) 史跡蜷塚遺跡の再整備事業について
- (5) 最近の博物館事業について
- (6) その他

意見、質問の詳細は「第 8 発言内容」のとおり。

第6 会議資料の名称

- | | | |
|---|----------|--------------|
| 1 | 資料 1 | 令和 6 年度事業報告 |
| 2 | 資料 2 | 令和 7 年度事業計画 |
| 3 | 資料 3-1～3 | 博物館事業評価 |
| 4 | 資料 4-1～3 | 史跡蜷塚遺跡の再整備事業 |
| 5 | 資料 5 | 最近の博物館事業 |

第7 発言内容記録方法

文字 / 録画 / 録音

第8 発言内容

1 開会

博物館長補佐 (開会)

博物館長補佐 本日の会議だが、事務局で会議録を作成するため、録音させていただきます。

博物館長補佐 浜松市博物館条例第 21 条第 1 項の規定によれば、本会議の議長は会長だが、議事に入るまでの間、私が司会を務める。

博物館長補佐 会議に先立ち、事務局職員を紹介する。

(職員紹介)

博物館長補佐 定足数の確認を行う。
全委員 8 人中、6 人が出席であり、浜松市博物館条例第 21 条第 2 項で規定する定足数に達しているため、本会議は成立する。

2 任命書交付

博物館長補佐 浜松市 PTA 連絡協議会の役員改選に伴い、高橋靖博

委員が退任され、令和 7 年 7 月 1 日付けで新たな委員を任命したため、任命書を交付する。

博物館長 (村松委員に任命書を交付)

3 挨拶

博物館長 (挨拶)

4 議事

博物館長補佐 ここからは、笹原会長に議事進行をお願いする。

笹原会長 議事の進行を務めるので、皆様のご協力をお願いしたい。

まず、会議録署名人の指名について、会長が指名した 1 名が署名を行うことになっている。

本日の会議録の署名は、田中委員をお願いする。

田中委員 (了承)

笹原会長 次に、会議の公開についてお諮りする。

「浜松市附属機関の会議の公開に関する要綱」第 3 条第 1 項により、当会議は原則的に公開である。

ただし、事業の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあるもの、市の機関及び国等の審議、検討又は協議に関する情報で公にすることにより、意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるものなどの「非公開情報」を扱う場合は、その全部又は一部を非公開にすることができるとされている。

本日は、これに該当する部分のみ非公開にすることとするが、異議はないか。

委員 (異議なし)

(1) 令和 6 年度事業報告等について

笹原会長 それでは、議事の 1 番目、令和 6 年度事業報告等について、事務局から説明をお願いします。

学芸 G 長 (資料に基づき説明)

笹原会長 質問等はあるか。

委員 (特になし)

(2) 令和 7 年度事業計画について

学芸 G 長 (資料に基づき説明)

笹原会長 質問等はあるか。

渡部委員 資料 11 ページの 1「資料管理」の「保管」で新規の委託業務について説明があったが、資料管理業務の負担が大きくなっている中、研究する時間が確保できるのか。

学芸 G 長 委託により作業そのものが軽減されるものではない。収蔵庫の空気環境測定を業者に委託し、害虫やカビなどの問題が発生しないかモニターする。
また、VHS や 8 mm フィルム等、今では見づらくなった資料を活用するためにデジタル化を実施する。

渡部委員 職員の負担軽減のためではなく、専門業者でなければできないことを委託するということか。

学芸 G 長 その通り。

笹原会長	環境測定の結果を踏まえて収蔵庫内の環境を変える計画があるのか。
学芸 G 長	資料燻蒸用の薬剤の製造が、令和 6 年で終了した。 今後定期的な燻蒸ができなくなるため、日ごろの清掃等で収蔵庫の安定した環境を保つことがより重要になる。今までと管理方法が変わってくる。 害虫やカビなど、目視の判断が難しい状況に対応するために環境測定を実施する。害虫等が発生した場合は、二酸化炭素等の方法で燻蒸を行う。
笹原会長	環境測定の結果、画期的な変化があるわけではないのか。
学芸 G 長	そうではない。
笹原会長	デジタル化する予定の VHS や 8 mm フィルムは、いつ頃の年代のものか。
学芸 G 長	VHS は昭和 40 年代から 50 年代頃、8 mm フィルムはもっと古いかもしれない。 ビネガーシンドロームを起こしているため、完全に映っているものが消えてしまう前に記録を残す必要がある。
笹原会長	何が映っているのか。
学芸 G 長	街の風景や発掘調査の記録が映っている。
笹原会長	ぜひ展示にも活用してほしい。
廣瀬委員	デジタル化は積極的に行うべきであるが、デジタル化

した映像をどのように活用するのか。
館内や資料検索システム「ある蔵」で閲覧できるようにするなど検討してほしい。

- | | |
|--------|---|
| 学芸 G 長 | 「ある蔵」は令和 7 年度中に再開予定。
動画対応していないが、画像を入れることは可能。
映像は常設展で流す予定。 |
| 博物館長 | 内容によっては一部切り取って YouTube などを利用することも検討している。 |
| 学芸 G 長 | デジタル化して内容を確認してから改めて活用方法を検討したい。 |
| 笹原会長 | 収集した映像はどれくらいの量があるのか。 |
| 博物館長 | 定量的に報告は難しいが、平成時代の中ごろは祭礼等の映像資料を作成する専門職員がいた。
映像資料は豊富である。 |
| 笹原会長 | 今後、常設展で活用してほしい。 |
| 西田委員 | ホームページに「ある蔵」の再開予定時期を記載してほしい。 |
| 学芸 G 長 | 承知した。 |
| 笹原会長 | 特別展の見どころは何か。 |
| 学芸 G 長 | 重要文化財になった伊場遺跡出土品をメインとして展示する。
その中でも特に木製のよろいは全国的にも稀な資料。 |

九州の糸島市でよろいの作りかけのような資料が出土したため、それを借用して展示する。

その他、主に西日本の弥生時代後期の文化を示す資料の展示や、伊場遺跡以外の市内の弥生時代遺跡の紹介をする予定。

村松委員 市外の博物館でスマートホンのAR機能を活用した展示がよく見られる。実物と3Dの画像を併せて見ることができれば、観覧者がわかりやすく想像できると思うので、特別展でも実施できないか。
時期的に難しいなら今後検討してほしい。

学芸G長 現時点で予定は無いが、遺跡等の魅力を伝えるための手法として、AR、VR技術の活用を検討している。
今後進めていきたい。

笹原会長 他に質問等はあるか。

委員 (特になし)

(3) 博物館事業評価について

学芸G長 (資料に基づき説明)

笹原会長 質問等はあるか。

渡部委員 資料11ページの1「資料管理」の「保管」で令和7年度目標値が令和6年度実績よりも低い項目があるのはなぜか。

学芸G長 令和7年度目標値は、令和6年度末に行った実績の集計前に設定したため、予測よりも実績が良かったために令和7年度目標値を超えていることがある。

渡部委員 予測よりも実績が良かった理由は何だと考えているか。

学芸 G 長 職員の充実があったと考える。

笹原会長 他に質問等はあるか。

委員 (特になし)

(4) 史跡蛭塚遺跡の再整備事業について

運営 G 長 (資料に基づき説明)

笹原会長 質問等はあるか。

村松委員 取り壊し予定の第 4 収蔵庫はどこにあって、いつ頃建てられたのか。

運営 G 長 公園中央付近にある建物。

博物館長 昭和 30 年代の発掘調査中に、下に遺跡が無いことを確認した上で建設された。

村松委員 取り壊した後に再度調査するのか。

学芸 G 長 指定地内であり基礎が残るため、調査は不可能。整地してエントランスエリアとして整備する予定。

笹原会長 収蔵庫を取り壊す際にイベントなどを開催したらどうか。

博物館長 昭和 30 年代の博物館施設は、今となっては貴重。

当時のあり様を示すため、収蔵品の移設完了後、内部の見学会について検討している。

笹原会長 思い出を回顧できるイベントにしてほしい。
他に質問等はあるか。

委員 (特になし)

(5) 最近の博物館事業について

博物館長 (資料に基づき説明)

笹原会長 質問等はあるか。

田中委員 P D C A サイクルのアクションの改善に関わる部分
が着実に次年度の事業計画に生かされているのか。
新たな収蔵庫や収蔵施設の増設・増築の計画は、遺跡
整備や博物館リニューアルで計画されているのか。

博物館長 参加者からアンケートを取り、事業分析をして次回以
降の改善を図っている。
収蔵庫については第4収蔵庫、別館の解体により床面
積が減るのは確定しており、今後代替施設を検討して
いるが、現時点では未定。収蔵庫や資料台帳をアウト
プットの手法としてアピールする場として活用した
いと考えている。

渡部委員 企業共催イベントはどんな経緯で実施したのか。
実施するメリットは何だと考えているか。

博物館長 企業から提案を受けて開催した。企業の社会貢献の一
環である。
博物館のイベントに参加しづらい、障がいを持つ人や

外国籍の人々への呼びかけとして、新たな文化創造につながるよう今後も継続していきたい。

笹原会長 資料にカヌーイベントを開催したとあるが、どのようなイベントだったのか。

博物館長 テーマ展「堀留運河と浜名湖の水運」の関連イベントの一環として開催した。
令和6年度に実施したカヌーガイドとの市民協働事業の延長線上にある。
安全面に配慮するため、浜松・浜名湖ツーリズムビューローとの共催で開催し、博物館からは講師として協力した。

笹原会長 参加した人数と年代は。

博物館長 安全配慮の都合上、70歳未満10人までとした。
年代は10代から60代まで。

笹原会長 他に質問等はあるか。

委員 (特になし)

(6) その他

笹原会長 今までの議題について改めて質問はあるか。

渡部委員 博物館リニューアル事業の視察先に松本市立博物館を選んだ理由は何か。

学芸G長 新設直後の館で最新の展示手法を取り入れており、評判が良かったため。

博物館長	同じ中部圏で博物館の規模も近い。
学芸 G 長	通史展示よりも地域の特色にテーマを絞った展示手法を取り入れる館が増えている。 今後、当館でも実施するかは未定だが、参考にした。
渡部委員	松本市美術館でも積極的に市民協働事業を実施しているので、参考にしてほしい。
笹原会長	「その他」について事務局から何かあるか。
事務局	(特になし)

5 閉会

会議録署名人 田中 裕 二
(署名又は記名押印)